

2014年12月18日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

タンタル酸リチウム基板、ニオブ酸リチウム基板の生産設備増強について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、情報通信端末用SAWフィルターのチップに用いられるタンタル酸リチウム基板およびニオブ酸リチウム基板の生産設備を増強することを決定しました。

SAW（Surface Acoustic Wave）フィルターは、特定の周波数帯域の電気信号を取り出すデバイスで情報通信端末に組み込まれています。近年は、スマートフォンやタブレット端末などの急速な市場の伸びに加え、通信の高速・大容量化による1台あたりの使用個数の大幅増加により、需要が急速に拡大しています。

当社は、SAWフィルターのチップに用いられるタンタル酸リチウム基板およびニオブ酸リチウム基板（以下、LT/LN基板）を当社の100%子会社である住友国富電子株式会社（北海道岩内郡共和町国富、代表取締役社長 伊関 聡）で生産しています。当社は約30年に亘りLT/LN基板を製造・販売しておりますが、単結晶の育成からウェハー加工までの一貫した生産技術を有し、結晶組成の安定性と高度なウェハー加工技術により、お客様から高い評価をいただいております。

当社は、SAWフィルターの市場が今後さらに拡大することを見込み、このたびLT/LN基板の生産設備の増強投資を行うこととしました。投資額は約35億円を計画しております。増強工事は、2014年12月より開始し、2016年9月に完成予定です。今回の設備投資により、当社のLT/LN基板の生産能力は、現在の12万枚/月から21万枚/月に増加する予定です。

当社は、今後も高い技術力を生かし、高品質な製品を安定して提供してまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

広報IR部 青野 祥紀

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215